

緊急要望	回 答
<p>1. 5月17日から開始している65歳以上のワクチン接種予約では、電話やネットでの受付申込が円滑に行われるよう体制強化を行うとともに、接種対象者に冷静な対応を呼びかけること。また、他の自治体で接種予約にキャンセルが生じ、ワクチンが廃棄されていた事例が報道されていることから、貴重なワクチンを無駄にしないため、できる限り廃棄が生じないように、キャンセルが生じた際の接種対象者を明確にしておくことなど、取組の工夫を徹底すること。</p>	<p>笠岡市では、65歳以上の方が約1万8千人いらっしゃることで、接種開始当初は配分ワクチン量が少ないこともあり、予約の混乱を避けるため、5月10日からは90歳以上に限定し予約の受付をいたしました。その1週間後の17日からは65歳以上のすべての方の接種予約開始に向けて、予約受付コールセンターの人員を6人から10人に増やすとともに、さらに受付時間を夜間20時まで延長する等の対応をいたしました。当初は、電話が繋がらないことはありましたが、概ね予約が出来たと考えております。</p> <p>また、ワクチン廃棄を可能な限り回避し、有効に活用するため、余剰分については次のとおり優先順位を決め、名簿を作成し廃棄を回避するよう努めています。</p> <p>①高齢者サービスや障がい者サービス事業所で従事している職員</p> <p>②本市職員のうち市民サービスに直結する職場の職員</p> <p style="text-align: right;">健康福祉部</p>
<p>2. 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のために、接種会場に赴くためのタクシー券の支給や送迎補助など、必要策を検討し実施すること。また、自ら申請手続きが困難な方等についての申請確認及びサポートを講じること。</p>	<p>集団接種会場への送迎補助につきましては、タクシーや公共交通機関を利用して接種会場にお越しの方には、タクシーチケット助成券1,000円分(500円×2枚)をお渡しするようしております。</p> <p>また、申請手続きに困難さを抱えている方への具体的なサポートにつきましては、障がいのある方で、例えば、耳の不自由な方で障害者手帳1級及び2級を所持している方には、別に郵送で情報提供をおこなったり、手話が可能な方には、地域福祉課の手話通訳士が個別に対応するなどして、ワクチン接種の意向や接種予約の手続きを支援しているところでございます。</p> <p style="text-align: right;">健康福祉部</p>

<p>3. 市民がPCR検査キットや抗原検査キットなどにより、無償で手軽に検査ができる状況を確認するために、必要策を検討し実施すること。</p>	<p>市内の学校・事業所・社会福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合に、保健所による行政検査の対象外ではあるが、当該陽性者に接触があると思われる方の不安の払拭を図るとともに、速やかな業務の再開及び感染拡大（クラスター）防止を図ることを目的として、令和3年6月補正予算に抗原検査キットの無償配布事業に必要な予算を計上し、議決をいただきましたので、今後速やかに事業実施を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">健康福祉部</p>
<p>4. 接種会場の増設及び速やかな検査の受診体制の整備のための検討を行い、実施すること。また、島しょ部の接種計画を早期に策定し、公表すること。</p>	<p>笠岡市では、7月初旬から65歳未満の方への接種が始まるに当たり、希望する市民の皆様にできるだけ早く接種を受けていただくことができるよう、既存の集団接種会場である笠岡市保健センターに加え、もう1箇所の会場で集団接種が行えるよう、増設の準備を進めているところです。</p> <p>また、島しょ部の接種計画につきましては、医師会や島しょ部の関係者の方々のご協力をいただき、先週、詳細を発表することができました。お住まいの方以外にも、島しょ部にお勤めの方なども含め、幅広く接種を受けていただけるよう考えております。</p> <p style="text-align: right;">健康福祉部</p>

<p>5. 今後現役世代の集団接種が可能になる場合に、先行接種の振り返りと留意点、また、企業においては副反応を踏まえた時間差での接種などの周知徹底を行うこと。併せて、現役世代が接種した際に副反応による休業が生じた場合の休業補償を県国に対して要望すること。</p>	<p>65歳以上の高齢者の場合、まずは接種希望者に対して予約が取れる安心感を優先させたこともあり、予約期間を気にすることなく8月や9月に至る場合にも、電話予約を受けるようにしました。接種予約には、段階を増やすなど、もう少し分散して電話予約を受け付けるなどの方法を今後は検討してまいります。その経験を生かし、64歳以下の接種予約に向けては、優先接種の予約区分けを行うなど、予約が一時期にできるだけ集中しないような工夫を考えてまいります。</p> <p>また、集団接種の会場を増設することで、笠岡版の職域接種を実施するなどの工夫により、64歳以下の就労者が受けやすい環境を考えてまいります。</p> <p>8月3日（火）開催予定の「令和3年度備中県民局管内トップミーティング（知事・市長村長会議）」において、次のような要望を行いたいと考えております。</p> <p>本市においては、5月10日からワクチン接種の予約を開始し、同月18日から高齢者を対象としたワクチン接種を開始しました。その中で、全国的な事例を見ますと、これまでにワクチンを接種した結果、種々の副反応が高い確率で発生しているとのことです。今後、現役世代を対象としたワクチン接種が開始される見込みですが、この副反応が発生した従業員の特別休暇の取得を事業所にお願ひし、そうした措置を講じた事業所が従業員の特別休暇により営業又は操業を一時停止した場合の休業補償を実施していただくようお願いいたします。また、感染者やクラスターが発生した事業所に対して、保健所が一定期間の営業停止措置を取った場合、中小零細企業は一定期間の休業により大きな影響が発生いたしますので、併せてこうした事業所に対する休業補償を実施していただきますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">健康福祉部 産業部</p>
---	---

<p>6. 感染症対策の強化を図るために、事業者を対象とした、アクリル板などの感染予防資材購入の補助など、必要策を検討し実施すること。</p>	<p>5月16日（日）から6月20日（日）までの間、岡山県に緊急事態宣言が発令され、県においては、酒類を提供する飲食店等及び20時以降営業している飲食店等に対する休業要請や時短要請を行い、その協力に対して岡山県時短要請協力金を支給することとしています。一方で、時短要請や休業要請の対象とならない飲食店をはじめ、緊急事態宣言による人流の減少により多くの事業者の経営に影響が出ていることから、岡山県では、岡山県飲食店等一時支援金（第2次）について、現在開催中の岡山県議会6月定例会に6月補正予算を提案しております。本市といたしましても、岡山県飲食店等一時支援金（第2次）の対象となる事業者の中で、笠岡市では小規模事業者及び個人事業者を対象に、一律10万円を支給する支援制度である飲食店等一時支援金給付事業を6月補正（追加分）として予算計上し、議決いただきましたので、今後速やかに事業実施を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">産業部</p>
<p>7. コロナ禍での市民生活を支援するため、水道料金の減免を検討し、実施すること。</p>	<p>笠岡市水道事業は、昨年度4月から9月までの間、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に厳しい状況に置かれている市民の皆様に寄り添う支援策として、全利用者を対象に、水道料金の基本料金6か月間分免除を実施し、皆様に非常に評価していただきました。</p> <p>今年度も5月16日から6月20日までの間、岡山県全域に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されたことに伴い、公共施設の利用制限、飲食店への休業及び営業時間短縮など大きな影響が出ています。また、状況は非常に不確実であり、この第4波がこのまま収束に向かうことを期待していますが、インド型変異ウイルスは感染力が強く感染の再拡大が心配される状況が続いています。もし、第5波が大きな感染拡大を引き起こし、非常に厳しい環境になった場合は、令和3年10月ころから水道料金の減免の措置を検討する必要があると考えております。</p> <p style="text-align: right;">上下水道部</p>